

認知症・生活習慣病研究とビッグデータ解析の融合による画期的な疾患予兆発見の仕組み構築と予防法の開発

COI 成果を集約し『QOL(啓発)健診』の国際標準化(モデル化)をめざす

※健康増進アプリは世の中に数多くあるが、真に行動変容までつなげられる総合的仕組み(プログラム)は未だ存在しない

新型健診の特徴 (ポイント)

- ①メタボ、ロコモ、口腔保健、うつ病・認知症の重要4テーマを総合的に健診する
- ②半日(健診は約2時間)で終わる → そのためには検査結果を即日還元
- ③健康教育(啓発)に力点を置く

単なる病気の判定ではなく、

その後の行動変容につながる“健康教育・啓発”

※健康意識(興味・関心)が低く、まだ症状がない住民(生活者)こそ真のターゲット

簡易型・包括的人間ドック

受診者

聞き取り調査

- ①既往歴・家族歴、②食生活、③運動習慣、④喫煙、⑤飲酒、⑥睡眠・休養、⑦便通・排尿習慣、⑧服薬状況など

メタボリックシンドローム

- ①肥満度：体組成
- ②高血圧：血圧測定
- ③脂質異常症：コレステロールなど
- ④糖尿病：HbA1c、血糖など
- ⑤動脈硬化：PWV、ABI測定

口腔保健

- 歯周病・う蝕
：口腔健診

ロコモティブシンドローム

- ①骨そしょう症：骨密度
- ②筋減弱症：体力測定

うつ病・認知症

- ①うつ度：CES-D
- ②認知機能：MMSE

※必須項目(共通) + オプションOP(選択)

迅速な測定結果 (2hr後には本人に詳細結果フィードバック)

健診データを使ってその場で“健康教育”を行う

メタボ、歯科口腔、ロコモ、うつ病・認知症、三大生活習慣病、健診、運動・飲酒・喫煙などの生活習慣

ICT活用で後日もケア → いつでも、どこでも、だれでもできる

《Comprehensive & Educational Health Check(CEHC)》

弘大COI:新型健診検討PT (COI×健やか力推進センター×健診センター (協力：四師会))

※本年度から『青森県総合健診センター』の事業として位置付け、まずは青森県内で本格展開開始